

## 上原兼善『近世琉球貿易史の研究』第1刷【正誤表】

(2刷本では訂正してあります)

- 序論 1頁 4行目 位置づけられものではなく→位置づけられるものではなく
- 序章 44頁 6行目 鶏冠草→鶏冠海苔
- 第一章 65頁 後より5行目 菜種→菜種子  
72頁 表11 給知方 米粟 9,4762→米粟 9,4762 (C)  
雑穀 1,183.4→雑穀 1,183.4 (D)
- 第二章 85頁 4行目 貢進船→進貢船  
100頁 後より5行目 鶏冠草→鶏冠海苔
- 第四章 167頁 本文最後の行 推し進められるにことになった。  
→推し進められることになった  
168頁 註(6) 最後の行 (史淵) 一四二輯→(『史淵』一四二輯)
- 第六章 210頁 最後の行 一二姓→一二世  
221頁 後より7行目 進貢貿易の→進貢貿易への
- 第七章 245頁 後より4行目 先の昆布の→先の俵物の  
254頁 後より5行目 …やはりが買不足→やはり買不足  
262頁 註(11) 後より4行目 船間の一分を→船間の一部を  
263頁 註(15) 東恩納貫惇→東恩納寛惇
- 第八章 280頁 後より2行目 新たに五月には七ヶ条→新たに五月には八ヶ条
- 第十章 329頁 後より7行目 筒井に対する→学問所掛筒井紀伊守正憲に対する  
後より5~4行目 学問所掛筒井紀伊守正憲→筒井  
後より4行目 (勘定奉行・長崎奉行らであろう)  
→(勘定奉行・寺社奉行・町奉行)  
333頁 8行目 史料 …当時唐物十六糧→…当時唐物十六種
- 第十一章 353頁 2行目 干筋藻等の四品目である→干筋藻等の五品目である  
357頁 3行目 是限強念仕外無御座候→是限絶念仕外無御座候  
363頁 後より6行目 川新米二八〇〇の→川新米二八〇〇石の  
368頁 5行目 ストック品のリスト掲げると→ストック品のリストを掲げると
- 第十二章 389頁 後1行目 緋羅紗・鳶色羅紗→緋羅紗はともかく鳶色羅紗
- 終章 466頁 7行目 渡唐役者も生産方も→渡唐役者も産物方も
- 付論 516頁 註(56)(57) 五野井隆史「慶長一四年(一六〇九)生糸貿易について」  
→「慶長一四年(一六〇九)の生糸貿易について」
- 事項索引 8頁 産物方 369→産物方 318, 369